The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	「拡大予防接種計画とワクチン」／「国レベルから見る予防接種事業」
Author(s)	蜂矢, 正彦
Citation	目で見るWHO. 2016, 59, p. 6-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86662
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「拡大予防接種計画とワクチン」/「国レベルからみる予防接種事業」

国立国際医療研究センター
蜂矢正彦

Masahiko HACHIYA
国立国際医療研究センター国際医療協力局。医学博士。小児科専門医。
東邦大学医学部卒。同小児科勤務後、ハーバード公衆衛生大学院にてＭＰＨ取得。マサチューセッツ州保健局、ハーバード大学公衆衛生大学院 熱帯公衆衛生学教室、成田空港検疫所を経て現職。ＪＩＣＡ事業やフィールド研究で得た知見をもとに、相手国の保健省やＷＨＯなどの国際機関に対し提言を行っている。

●途上国の現在

平均寿命が少しずつ伸び、現在は癌、糖尿病も非常に増えてきている。それと共に、日本では想像もつかないくらい格差が激しいのも事実だ。疾病の予防に関しては、疾病の解釈自体が異なっていることもあるのが現状である。

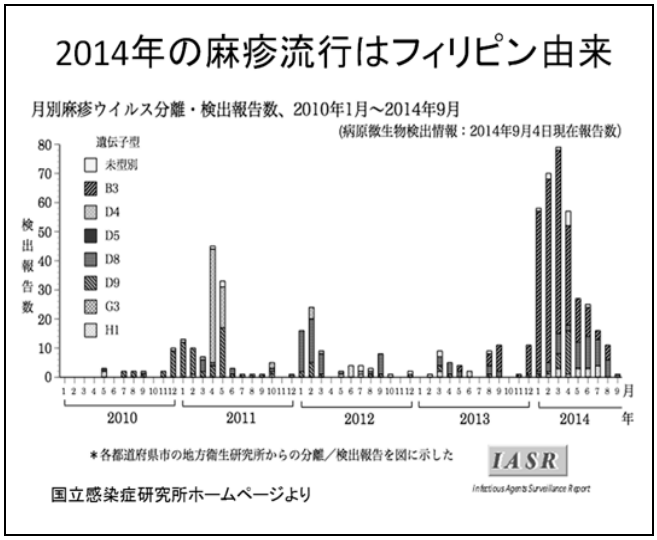
●ワクチンと免疫

ワクチンは一見簡単なようだが、実はとても難しい。インフラ整備、保健医療人材が大事であり、さらにいうと予防接種が感染症の予防に効くという認識がない場合もある。1970 年代に拡大予防接種事業が開始され、6 つの疾患(はしか、ポリオ、百日咳、破傷風、ジフテリア、結核)の予防接種事業の拡大が行われた。中でもポリオに関してはかつて世界で毎年 35 万人もの患者が発生していたが、現在は 400 人にまで減少している。これは公衆衛生の歴史の中でも輝かしい成果であるが、地域格差が未だ存在しており、根絶できていない疾患がほとんどであるという現実があるのも事実だ。

ワクチンは 2～8℃で保存することが必要で、コールドチェーンを維持することは非常に大事になる。プログラムの評価、サーベイランスができてないとどうにもならず、毎週毎月疾病動向調査をすることも非常に大事になる。また、コミュニティとの連携も重要になる。

●フィリピンにおける麻疹の予防接種事業

拡大予防接種事業が行われる以前には日本では麻疹患者は年間 10～30 万人発生したといわれているが、今年はまだ 20 人前後と少ない。麻疹は感染力が強く、特に栄養状態の悪い途上国では顕著である。また、治療法がないためワクチンが患者数を減らす唯一の手段になる。日本においては世界的に麻疹排除国とされているが、2014 年は大学で流行するなど感染者が多かった。感染症サーベイランスによると麻疹ウイルスの型としては日本では B3 型が多く、これは東南アジア特にフィリピンから来ていることが分かっている。ここからも世界の感染症が国境を越えていることは明らかである。



フィリピンの麻疹を抑えるために 2014 年 9 月に補足的ワクチン接種事業が行われた。その中で私が携わった事業に関して紹介させていただく。

その事業の中では、予防接種を打ったことを明らかにするためワクチン接種後左手の小指にマジ

ックでサインをしていた。そのようにすることで、ワクチンをうったかを個人個人判断できたと共に、村のワクチン接種率も算出することができた。その結果、村では予防接種率が良かったが、予防接種センターの近くのスラム街では驚くほど接種率が低かった。同じように貧しい地域でも情報の格差によって予防接種を受ける機会に格差が出ていることを示している。

●ラオスにおける B 型肝炎の予防接種事業

B 型肝炎は 80 年代からワクチン接種が始まり、乳幼児期に接種すると母子感染の予防効果が高いと言われている。麻疹は発疹が出るので感染に気付きやすいが、B 型肝炎は肝がんに至るまで自覚症状がないことが多いため、国全体での調査が大事になる。

私自身はラオスで B 型肝炎の患者数の調査を行った。無作為に 1008 人の子どもと 1008 人の母から 0.05cc の血液を採取して調査を行った。それまでラオスでは B 型肝炎は８％以上いるとの報告があったが、実際はそれぞれ 1.7%、2.9%という結果であった。このように実際の数値と差異があることはその後の事業の在り方も変わってくるので、正確な数値を知ることは重要だ。

今回は一国について調査を行ったが、一国だけでなく周りの国まで影響のあることであるから、患者数、予防接種率を正確に知ることが重要である。